

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
 大阪動物専門学校
 学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「平成 29 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 平成 30 年度学校関係者評価委員会

< 委員 > (五十音順)

高橋 大二郎 氏 大東電機工業株式会社 営業部 次長
 西上 真由 氏 長居ペットサロン トリマー
 畑 中 学 氏 株式会社トレーニングハッチ 代表取締役
 山口 久美 氏 イオンペット株式会社 伊丹店 店長

< 事務局 >

田宮 康 司 大阪動物専門学校 校長
 武田 知 也 大阪動物専門学校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	<p>イ．理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標は、『本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。』としている。また、学園の基本目標として、『学生から信頼され支持される学校づくり』を掲げ、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>ロ．学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学は独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入している。この「ゼミ学習」を通して、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業にも就職している。</p> <p>ハ．理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p> <p>入学希望者には、わかりやすくオープンキャンパス等で説明している。また、保護者には、最新のお知らせ等を年に 4 回送付している。</p> <p>ニ．各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方</p>

	<p>向づけられているか</p> <p>本学の特色である「ゼミ学習」により、各業界、各職種に対応する専門的な知識を確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション力などの人間性をもはぐくみ育てている。また、本学では目標とする資格や技術を明確にし、学内就職セミナー等で希望する会社の人事担当者から「求める人材像」などの話を直接聞くことにより、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識と技能を身に付け動物関連業界を中心に多岐に亘る業界や職種のニーズに対応できる教育を実践している。</p> <p>この基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 外部講師(専門職)の指導で実習を行っている事が良い。</p> <p>(2) 貴校は、1つのコースに偏った授業ではなく、様々な動物分野の講座を受ける事ができる。その知識は、来店される飼い主様とのコミュニケーションを図る上で非常に役に立つ事だと思う。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>本学では『学生から信頼され支持される学校づくり』を学園の基本目標としており、この学園の基本目標は、教職員全員に周知徹底されており、教務室、事務室、就職相談室などに掲示している。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営のための組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金の処遇に関する制度として、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職が行っている。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っており、理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、動物企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>入学案内書などで情報公開しオープンキャンパス等で入学希望者や保護者に配布・説明している。また、就職実績や合格者情報では、本人の了承を得て氏名・出身校名を掲載することにより適切な内容となっている。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>学務システム、経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワーク(VPN 網)を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p>

	<p>この基準 2 についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>企業としても個人情報の取り扱いは、厳しく管理しているが、貴校もしっかり管理されていることが理解できた。</p>
<p>基準 3 教育活動</p>	<p>イ．教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラムは、学科で目標とする資格の取得および社会のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において、定期的に見直しを行っている。</p> <p>ロ．教育理念、育成人材像や業界の人材ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>教務内容は、動物関連業界からの人材ニーズに対応すべく設定し、修業年限で業界が求めるレベルに到達することを可能にしている。</p> <p>ハ．学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>カリキュラムは、インターンシップ先、学内就職セミナー等で得た意見や、年 2 回開催する教育課程編成委員会での意見を参考に、カリキュラム作成委員会を行って反映させている。</p> <p>ニ．キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>専門科目以外にビジネスマナー、就職ゼミナールなどの科目を設置している。また、新入生就職セミナーや企業の人事担当者を招く学内就職セミナー等では、求められる人物像などの説明を直接学生にさせていただいており、企業からも一定の評価をいただいている。</p> <p>ホ．関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</p> <p>1 年次には、約 1 週間、必須単位としてのインターンシップを企業等と連携し行っている。また、定期的に企業と連携して講習会を行っている。</p> <p>ヘ．授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>学生による授業評価アンケートを実施して、授業システム見直しのために資料として活用している。普段から他の教員の授業も教室に入って見学している。</p> <p>ト．成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>成績評価および単位認定は、学則および専門課程便覧に基づき、年 2 回厳正に行っている。学生には入学式および授業初日にも説明をしている。</p> <p>チ．資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>コース毎に目標とする資格を明確に定め、その取得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。</p> <p>リ．人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>採用の際、専門性、人間性、教授力、必要資格等などを確認し、それらの要件を備えた教員を採用している。</p> <p>ヌ．職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>

	<p>年間を通じ自己啓発研修の実施し、また定期的に外部団体等との連携により最新の動向を取り入れる研修を教員に対して実施し教員個々のレベルアップを図っている。</p> <p>この基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 弊社でも日本動物や大阪動物の卒業生が従業員として働いており、皆、頑張ってくれている。「時間外に技術や知識を教えてください。」という自主的な発言があり、とてもやる気を感じる。トレーナーという職業は、「犬好きが訓練を行う」という認識だけではやっていけない。動物に対する総合的な知識・技術が求められており、貴校の活動には賛成できる。今後もインターンシップ生を継続して受け入れるつもりである。</p> <p>(2) すべての教職員が学生一人ひとりを意識して指導している様子が伺える。また、卒業生にも対応がとても温かいことも伺える。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ．就職率の向上が図られているか</p> <p>本学は、就職担当者と担任が連携を取りながら、企業様等を訪問して求人開拓をしている。企業様方は、本学の学内就職セミナー等に例年多数参加していただいている。また、毎週就職会議を行いその結果を前年度と比較して推移を把握しており、同時に就職部が学園全体も把握し学園内各校とも比較している。</p> <p>ロ．資格取得率の向上が図られているか</p> <p>学園内の各校と定期的に資格取得率向上のカリキュラム会議を開き、試験内容に変更がある場合には、その内容にすぐに適応できるように体制を整えている。</p> <p>ハ．退学率の低減が図られているか</p> <p>一人も退学者を出さずことなく入学者全員を卒業させることが最終目標である。そのために担任をはじめ教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学生と教職員、就職部が三位一体となり就職支援を行っていることは、とても良い事だと思う。</p> <p>(2) 学生一人ひとりに親身になって対応し希望の就職先に決まるまで相談できる体制は、素晴らしいと思う。</p> <p>(3) 貴校へ伺った際に、教職員が親身になって学生指導している風景を見たことがあり、教職員と学生に信頼関係がある事が良く分かる。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ．進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施している。</p>

ロ．学生相談に関する体制は整備されているか

相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄については、学生相談室を設置している。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じている。保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。

ハ．学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度を設けており、これらの制度はすべて、貸与ではなく給付となっている。

ニ．学生の健康管理を担う組織体制はあるか

学校保健安全法に基づく健康診断を年に1回4月に全学生を対象に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。

ホ．課外活動に対する支援体制は整備されているか

ドッグスポーツクラブをはじめ、野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部、プラスバンド部、応援団、チアリーダーなどのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などを学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。

ヘ．学生の生活環境への支援は行われているか

遠隔地出身者のために、学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。

ト．保護者と適切に連携しているか

学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者に連絡を取り、面談をしながら学生の指導を行っている。

チ．高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

立志舎グループは「高校生の就職を応援します」と銘打ち、高校生のための就職セミナー、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生に参加してもらっている。

この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

- (1) 特別奨学生試験など学費が減額される支援制度があることは良いと思う。
- (2) 仕事では自分のスキルアップが出来ないが、自分の技術を磨く時間をどこで作るかが大切である。クラブ活動、特にドッグスポーツクラブは、放課後を活用した自身の技術向上ができる取組みとして大変良いと感じる。貴校を卒業した従業員も先日独立したが、その仕事ぶりを振り返っても自分の時間を割いて技術を磨いていた。
- (3) 就職活動に不安がある学生に対して、教職員から声掛けをして悩みを聞く等、とてもよい事だと思う。毎年、道具メンテナンスの講習会のため貴校に来るが、1年間で大きく変わる学生の成長を見ることで感じている。

<p>基準 6 教育環境</p>	<p>イ . 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 設置基準に基づき教室、実習室、教員室、事務室などを設置し、維持管理については定期的な点検整備を行い、学内に担当者を置き、専門業者に定期的な点検整備を依頼、実施している。</p> <p>ロ . 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 学生が希望するインターンシップ先を担任と協力して受け入れ活動を行っている。インターンシップ受け入れ先からは高く評価され、就職内定へとつながっている。また、アジリティー大会、ドッグショー見学、動物施設等の学外学習、海外ペット研修を実施するなど十分な教育体制を整備している。</p> <p>ハ . 防災に対する体制は整備されているか 防災指導担当者を校務分掌に規定し、定期的に防災訓練を行い、防火管理者を置き、消防計画を立てている。 X線装置を専用室で防護ボックス内に設置しており、定期的に漏洩検査を行っている。</p> <p>この基準 6 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) オープンキャンパスに参加する事で、学校施設や設備を実際に見ることが出来るのは、入学を決定する判断基準として良いと思った。 (2) 動物看護実習室など学校内部の設備が年々充実していく事は、素晴らしいと感じた。</p>
<p>基準 7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ . 学生募集活動は、適正に行われているか 入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は、きちんと把握している合格状況や就職状況に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。</p> <p>ロ . 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 教育成果は、その内容や表現において真実性、明瞭性また法令遵守が必要であることを認識し広報を中心に入学案内書やガイドブック等を作成し学生募集活動をしている。そのために具体的な数字を示すことや本人の了承を得て氏名を掲載することにより志望者や保護者からの信頼が得られる内容となっている。</p> <p>ハ . 学納金は妥当なものとなっているか 学納金に関しては学校の財政基盤に問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準 7 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) 学校説明会では、非常に分かりやすい説明があり、在生を見ても非常に明るく笑顔で立ち回る姿は来校者に安心感を与えている。また、教職員と在学生の距離も近く感じる事ができる場面は、入学意欲を高める要因であると感じた。 (2) 高校生に入学して頂くためのアプローチに力を入れていると感じた。少子化</p>

	<p>の状況下でのアピールポイントは、就職率だと思う。益々のアピールができるよう継続して努力して頂きたい。</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p>イ．中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ロ．予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ハ．財務について会計監査が適正に行われているか ニ．財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められており、予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>会計監査については、監事 2 名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p> <p>私立学校法第 4 7 条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>以上の点から財務については適切に運用及び管理されている。</p> <p>この基準 8 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 合格祝賀会や学園祭、球技大会など学生に還元している行事などがあって良いと思った。弊社でできるかというとなかなかできない取組みだと感じた。</p> <p>(2) 経済状況も常に変化している中、他校では学生の数が減っていると耳に入るが、毎年安定した入学者を確保している事が財務の安定につながっていると感じた。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>イ．法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、法令遵守規程を作成し、教職員に徹底している。さらに必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布するなど、法令、設置基準を遵守するための施策や法令遵守規程を作成し、実施している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。そして、毎年、大阪府専修学校各種学校連合会より指導員を招いて人権研修を実施している。</p> <p>本学は動物取扱業として大阪市に登録しており、動物取扱責任者を選任し必要な知識や技術を習得している。</p> <p>ロ．個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護規程を設定しており、プライバシーポリシーを設定し公開している。また、学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。</p> <p>教職員には規程の遵守はもとより、インターネット使用時の暗号化なども徹底しており、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。</p>

	<p>ハ．自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、学校評価研究機構の基準により、点検、評価を行っている。</p> <p>ニ．自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開している。</p> <p>この基準 9 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、委員から管理は適切に行われていると評価された。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ．学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>開校時より、家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを行っている。また、学園祭では地域住民の方を招待し地域活性化に協力している。</p> <p>ロ．学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。具体的には学生の校舎外の近隣清掃を開校時から行っており、清掃活動は近隣住民からも好評を得ている。また、地域との連携や交流が社会貢献につながるという観点から、特別養護老人ホームでのドッグセラピー活動や大阪市立上福島小学校において「ふれあいコンサート」を開催している。このコンサートは吹奏楽部、和太鼓部が参加し、好評を得ている。</p> <p>ハ．地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>動物病院主催のセミナーやトリミング外部セミナーなどに学校施設を提供したり、中学生を対象とした職業体験実習の受入れを実施している。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。</p> <p>(1) 弊社では、地域の小学校に犬を連れていき動物介在教育のお手伝いをしている。動物とふれあうことで不登校やいじめ問題にも役立っていると聞いている。今後は貴校にもご協力をして頂こうと思っている。</p> <p>(2) 弊社も保健所にいる犬猫のトリミングにボランティアとして参加しているが、学生もこのような取り組みに参加できるとよいのではないかと。</p> <p>【回答】ご紹介いただけるボランティア等あれば、ぜひ声を掛けて頂きたい。</p>

統括

- (1) 外部講師(専門職)を含め、様々な先生から学ぶ機会があるのは良いと思う。全ての先生から学ぶことの全てが正解であり、複数の先生からドッグトレーニングを学ぶ機会があるのは自分が学生の時には無かったので、大変うらやましいと感じている。
- (2) 歳の若い先生は、学生に対する接し方が甘かったように感じていた。その結果、授業中うるさくて集中出来ない場面があったことを覚えている。
- (3) 卒業後も学校を訪れる学生が多いという事は、教職員と学生との信頼関係が成り立ち、学生にとって魅力的な学校であるのだと感じる。

- (4) 貴校の先生は、とても元気であると感じている。現場の先生方が明るく、ポジティブな姿勢で取り組んでおられる事が何より素晴らしいと思う。